

六月例会

日時 平成二十六年六月十八日(水)

テーマ ソーシャルイノベーション

・世界の潮流と日本へのインプリケーション

講師 筑波大学 大学院 ビジネスサイエンス研究科 准教授

三森 八重子 氏



三森 八重子 氏

■ 略 歴

筑波大学 大学院 ビジネスサイエンス研究科 准教授。2006年から2009年まで、文部科学省・科学技術政策研究所 (NISTEP) で国際研究協力官を務め、同国研の国際の窓口として、NISTEPと海外の大学・研究所のコラボレーション創出に携わった。

その後、独立行政法人理化学研究所（基幹研究所）の連携コーディネーター、東京工業大学の産学連携コーディネーターを経て現職。専門は、イノベーションマネジメント、国際イノベーション政策、技術経営。



Grameen Bank

グラミンバンクの
創設者 ユヌス



フローレンス

病児保育のソーシャル・
ベンチャー



株式会社いろどり

地域の強みを活かした事業創造



アショカ

世界最大のソーシャル・アントレプレナー
ネットワーク

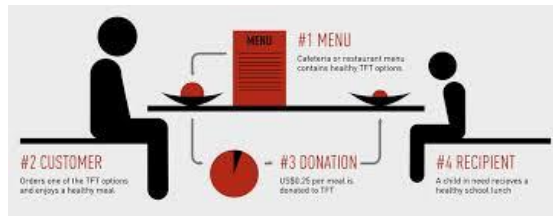


TABLE FOR TWO International

先進国の食生活改善の促進と開発途上国への寄付に
関する事業

七月例会

日時 平成二十六年七月十六日(水)

テーマ 日本の消費者はなぜタフなのか

・日本的・現代的特性とマーケティング対応

講師 中央大学商学部教授 企業研究所長

三浦俊彦氏

■ 略 歴

1958年京都府出身。1986年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程中退。1986年中央大学商学部助手。1990年同助教授。1995年コロンビア大学ビジネススクール客員研究員。1996年ESCP(パリ高等商科大学)客員教授。1999年より現職。2013年12月より中央大学企業研究所所長。

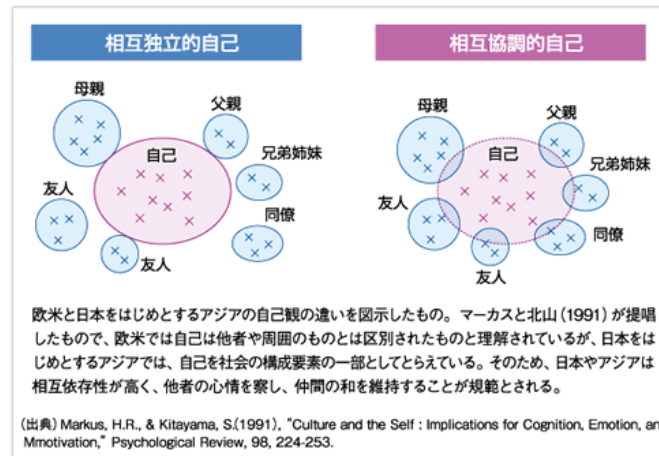
三浦俊彦氏



表1 日本の消費者のタフさの構造

段階	内容	例	影響する要因
購買意思決定以前	① 選択肢の多様性	・なんでも購買対象にする ・品揃えの幅を好む	規範意識
購買意思決定時	② 選択基準の厳しさ	・多様な次元(品質・イメージなど)を重視 ・特に、品質次元で厳しい	美意識
購買意思決定以後	③ 選択結果の変動性	・選択が時間的に変動する	感情型属性重視 集団主義

図2 欧米と日本の自己意識の違い



日本の消費者はなぜタフなのか -- 日本的・現代的特性とマーケティング対応, 有斐閣 (2013/12/21)

八月例会

日時 平成二十六年八月二十七日(水)

テーマ “大停滞”か “新しい機械の時代”か

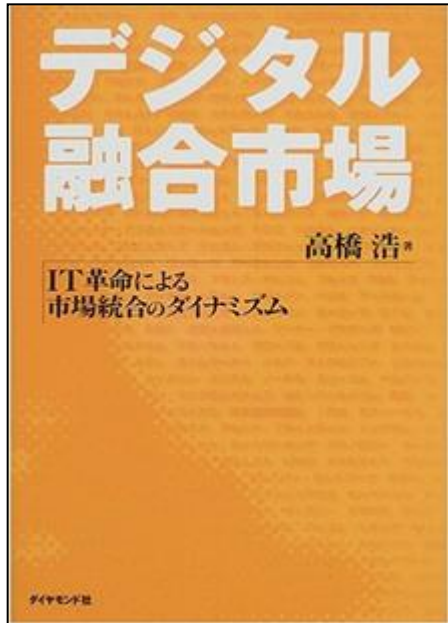
講師 北陸先端科学技術大学院大学 非常勤講師

高橋 浩氏

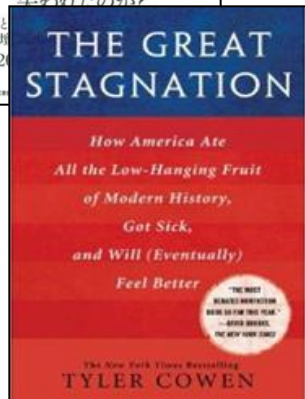
■ 略 歴

1970年東北大学大学院工学研究科(応用物理)修士課程修了後、富士通(株)に入社。システム本部主席部長(オープンシステム担当),SI事業本部主席部長(通信システム,商品企画担当)などを経て、2005年宮城大学食産業学部教授。2010年に宮城大学退職後、現職。2006年に東京工業大学大学院博士課程修了、博士(学術)。

高橋 浩氏

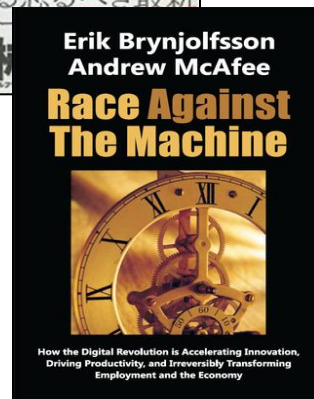


デジタル融合市場—IT革命による市場統合のダイナミズム,ダイヤモンド社 (2000/11)



大停滞

VS



新しい機械の時代

九月例会

日時 平成二十六年九月十日(水)

テーマ 日本の自動車産業・電気産業とのパラレルパス

講師 GFリサーチ合同会社 代表

株式会社ナビゲータープラットフォーム 取締役

泉田 良輔 氏



泉田 良輔 氏

■ 略 歴

慶應義塾大学商学部卒業後、日本生命保険相互会社を経て、2002年から2012年までフィデリティ投信 調査部でアナリストとして、エレクトロニクス、インターネット、ゲーム、機械セクターなどを担当。

上場企業のトップマネジメントへ定期的取材を行い、各企業の戦略や競争優位の評価、バリュエーションに基づいた投資判断を行う。

個人投資家向け日本株投資アイデアサイトLongine (ロンジン) の編集委員長も務める。



日本の電機産業 - 何が勝敗を分けるのか, 日本経済新聞出版社 (2013/4)



GFリサーチ合同会社 (GFResearch LLC)

2013年に設立、泉田氏が代表を務める。ベンチャーやスタートアップ企業への経営支援および自己資金による投資およびテクノロジー、エネルギー、ヘルスケア産業のスペシャリストと連携し、事業創出と自己資金投資を行う。

十月例会

日時 平成二十六年十月二十八日(火)

テーマ ICTの2面性

講師 青山学院大学青山ビジネススクール 特任教授

保々雅世氏



保々雅世氏

■ 略 歴

日本IBM(株)に入社後、MBA留学を経て、米国IBM Corporationにてコンサルタントとして勤務。その後、SAPドイツ本社の役員特別補佐、マイクロソフト(株)業務執行役員、日本オラクル株式会社 常務、SAS Institute Japan株式会社 執行役員 パートナーアライアンス戦略本部長を歴任。

東京工業大学大学院 社会理工学部特任教授、青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 非常勤講師も務める。
カーネギーメロン大学にてMBA, 東京工業大学にて博士(学術)取得。



日本オラクル本社ビル



ABS・青山学院大学大学院国際 マネジメント研究科

十一月例会

日時 平成二十六年十一月十九日（水）

テーマ リスク管理の世界潮流…化学物質のフィジカルリスクへの
世界動向に見る経営戦略への示唆

講師 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 客員教授
半井 豊明 氏

■ 略 歴

1969年6月東京大学工学部を卒業。1971年3月、東京大学工学系研究科修士課程を修了し、同年、住友化学工業(株)に入社。中央研究所・高槻研究所で勤務後、NEDO産業技術部、(株)住化技術情報センターを経て、2007年、横浜国立大学大学院 環境情報研究院の客員教授に就任。環境影響評価に関連する3つの

プロジェクト（JST, MOEおよびMEXT）に参加。フィジカルリスク（火災・爆発など）の観点から研究に従事。

<参画プロジェクト例（JST）>



<共翻訳例>

- ・「リスクアセスメントハンドブック」（1998年,丸善/McGraw-Hill）
- ・「定量的リスクアセスメントのガイドライン」（2004年,オランダ政府機関VROM,通称”パープルブック”）
- ・「SEVESOII指令のリスク評価およびリスクマネジメント」（2005年,Elsevier）



半井 豊明 氏



横浜国立大／横浜港の航空写真

十二月例会

日時 平成二十六年十二月十八日(木)

テーマ 圧縮された産業発展、台湾のハイテク企業の発展の背景

講師 アジア経済研究所 地域研究センター 東アジア研究グループ 長

川上桃子氏



川上桃子氏

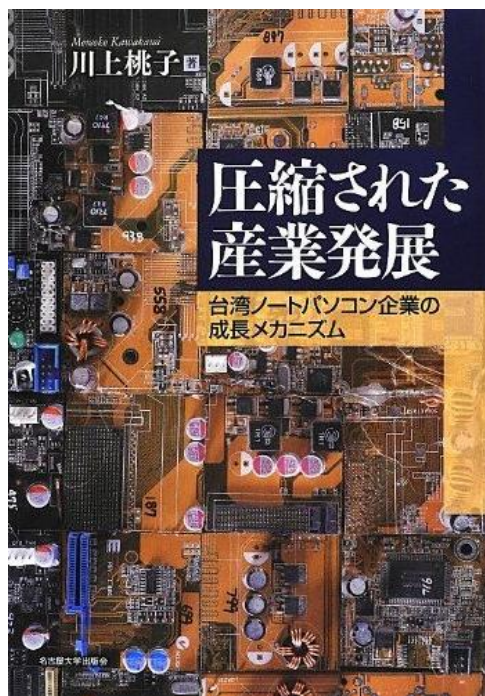
略歴

1991年東京大学経済学部卒業、アジア経済研究所入所。2008年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。2011年東京大学より博士(経済学)学位取得。アジア経済研究所在台北・バークレー海外調査員等を経て現職。専門は台湾を中心とする東アジアの産業、企業。

2013年6月に著書『圧縮された産業発展』により、第29回「大平正芳記念賞」を受賞。

< 大平正芳記念賞 >

「環太平洋連帯構想」の発展に貢献した政治・経済・文化・科学技術に関する優れた著作(環太平洋地域についての地域研究も含む)に対して表彰されるもの。



ジェトロ・アジア経済研究所

圧縮された産業発展-台湾ノートパソコン企業の成長メカニズム-, 名古屋大学出版会 (2012/7/5)